

ご挨拶

農)おくたま農産 代表理事組合長 小野寺勝義

山の色が変わりはじめ景色は秋になり、食べ物おいしい季節です。おくたま農産も収穫期になり忙しいときを迎えています。飼料米の収穫作業真っただ中です。今年は倒伏があり心配な秋となりましたがベテランオペレーター中心に進めております。

「今の時代に」と驚いた令和の米騒動も落ち着き、これをきっかけに安定生産と安定供給の必要性を感じたこの頃、今だからこそおくたま農産などの生産団体の存在意義があるのではないかと考えるきっかけとなりました。全てを交付金に頼る体質からいくらかでも自ら稼ぐ品目の生産へ意識を持ち活動していきたいと思えます。収穫作業と同時進行で来年度の作付け計画の話し合いが始まりました。飼料米と主食米・モチ・WCS・大豆そして味噌の仕込み量など。政治の話に耳を傾けながら、今、おくたま農産がすべき事を考えながら進めてまいります。



<発行人>
農事組合法人 おくたま農産
責任者 代表理事組合長 小野寺勝義
連絡先 0191-56-2301
E-mail okutama-nousan@alto.ocn.ne.jp

収穫作業が10月1日より開始！！

春先からの苦勞が報われるよう安全作業に留意し取り組みます。

◀ 作業の流れは次のとおり ▶ 「飼料用米」収穫作業は約3週間を予定。その後は「大豆」の収穫作業が始まります。



①事前に収穫作業に向け、安全作業講習会やコンバイン作業等研修会を実施
(トラブル等あったときはエンジンを止めて点検して下さい)



②作業開始前には毎回朝礼にて作業手順を確認
(長丁場なので体調に留意し作業して下さい)



③コンバイン6台、トラック6台集合



④圃場に向けスタート
(安全速度を守って!)



(写真は受託した上奥玉水稻生産組合圃場の作業状況です。)

⑤圃場にて効率的にコンバイン作業を実施

- ・安全作業のため車間距離は十分に取らしましょう！
- ・今年は上奥玉水稻生産組合から刈取りを委託されました。約11ha



⑥コンバインのタンクが満タンになり搬入用コンテナに籾投入
(今年はタンクに貯まるのが早いような気がします。)



⑦カントリーでは圃場から運ばれたコンテナを下し乾燥ビンに「もみ投入」



⑧千厩カントリーエレベーターで荷受けされた籾は乾燥・調製・フレコン詰めされ出荷されます。

収穫前にはこんなことも！

雑草「クサネム」を手作業にて退治しました。

*クサネムの種子は籾と同じ大きさなので収穫物に混入する恐れがあること、落ちた種子により次年度多発することのないよう対策として実施しました。

出役いただいた皆さん大変ご苦労さまでした。

(足腰がパンパンになったとのことです)



※ミレーの名画『落穂拾い』をイメージし「額縁」をつけてみました。

もち米の収穫作業が完了



9月17日より入山沢圃場に作付けした『もち米』の収穫作業を開始しました。乾燥・袋詰め作業が完了しました。

本年度のもち米(こがねもち)は好天に恵まれたこともあり、収穫量はまずまずの結果となりました。

※注文とりまとめしていた「もち米」は、12月から供給する計画としています。残りはJAに販売することとなります。

結果は

- ・栽培面積 111a
- ・収穫数量 182袋/30kg(くず米除き)
- ・単 収 492 kg/10a

(例年が450kg前後なので獲れました。)

加工部だよ



10月から、今年1月から仕込んだ味噌に切り替わり提供しております。事務所前の「のぼり」の効果なのかお買い求めるお客さんは増えております。また、室根産直でお買い上げいただいているお客様からも「おいしい」と好評です。

さて、お歳暮など贈答用におくたま農産のお味噌を送りたいとのご要望がありましたので右写真の「箱入味噌」を紹介します。
2個入1,545円・3個入2,323円で販売していますのでご利用願います。なお準備等もありますので事前に農産事務所にご連絡いただければ幸いです。(農産事務所 TEL56-2301)



食欲の秋です。皆さん秋の味覚をご賞味あれ！



柿、りんご、きのこ類、サンマ、いものこ汁もいいな！ かぼちゃは冬か？

(編集後記)

いよいよ収穫作業がはじまりました。今年春先から好天に恵まれたものの夏には高温少雨となり、収穫前には大きな台風被害はなかったものの長雨が続くなど、今年も天候に左右される年でした。今までの苦労が報われるよう豊作を祈っております。

PS またまた写真が多くてすいません。

(担当 菅原)